

## 議会報告

小林たかひろ



日向市大字幸脇1088番地2  
TEL: FAX: 0982-58-0073  
携帯電話: 090-4347-2712  
メールアドレス  
kobat1125@gmail.com  
編集・発行者/小林 隆 洋

絆

きずな

Vol.5

新型コロナウイルスの影響で行事やイベントが軒並み中止されていますが、皆さまにはお変わりなくお元気でお過ごしのことと存じます。

さて、3月定例市議会は市長選挙（3月22日・投票日）が執行されることから、ひと月早く1月31日から2月25日までの期間、開催されました。

今回は2回目となる「図書館の整備充実」と「南部地区の文化・観光振興策」について一般質問を行いました。市長からは、来年度予算や条例の一部改正などが提案され、全議案が承認・可決されました。質問では、つい熱が入り過ぎて持ち時間をオーバー。議長から制止される始末（反省・教訓化）。ヒートアップにご用心でした。

## ●一般質問

## 図書館の整備を図れ

質問▼これまでの図書館運営の成果や課題をどう受け止め、今後、どのように推進されていくのか

答弁・教育長▽図書館は生涯学習の場。学習支援やサービスの充実を図るほか、インターネットの充実にも努めているが、施設の老朽化やスペースも狭いので良好とは言えない環境。多くの市民が利用できるための整備が求められる。

質問▼施設の複合化・多機能化では、都城市を始め他市の優れた図書館をどう思うか。日向市も産業振興の支援や地区公民館と連携したまちづくり、学校図書室とのネットワークによる学力向上、市民の調査研究等の支援を担う。知の地域づくりの拠点施設にすべきだと思いがどうか

答弁・教育長▽都城市やほかの図書館は先進事例と受け止める。



改築が待たれる市立図書館。建築後 50 数年が経過して老朽化が進み、スペースも不十分です

利便性の高い図書館となるよう複合化・多機能化の視点で今後検討する。

質問▼市民のライフステージや昨年六月から施行された読書バリアフリー法にに応じた現状と課題、対策を問う。また、高齢者や障がい者の引きこもり防止対策や児童生徒の不登校支援のための居場所づくり機能を持たせることについてはどうか

答弁・教育長▽乳幼児期には「ブックスタート事業」や「おはなし会」などを行っている。障がい者には、点字図書館や大活字本、広報紙の音訳CDなどを配置しているが、まだ十分とは言えない。高齢者や障がい者等の居場所機能や市民が気軽に集える交流の場として、複合・多機能型の視点で検討していく。

質問▼利用者向けの図書情報やイベント情報等を掲載したメールマガジンの配信はどうか

答弁・教育長▽ホームページを経由して検索。一部予約や新着図書を案内している。メールマガジンの配信は有効な手段。先進事例を参考に研究する。

質問▼配置司書の研修の場ややる気を起こさせるための専門職の位置づけ、及び、報酬アップなどの改善策は。読書活動の一翼を担うボランティアグループ友の会」の増員を図る仕掛けや、サービスが行き届かない過疎地域対策を問う

答弁・教育長▽配置司書は六名。県立図書館が行う各種研修を受講している。報酬面では四月から「会計年度職員」として位置づけられ、専門職としての地位を確保。処遇改善も図られる。「友の会」は、いろいろな場面で読書普及活動に協力されているが固定化も否めない。今後は関心のある方を対象に養成講座を開き育成に努める。

過疎対策については、オンラインで繋がっている市内六つの地区公民館を通じて図書を貸し出している。

質問▼市直営ではなく公設民営化による運営手法もあるがどうか。新しい図書館建て替えについて問う

答弁・市長▽直営、公設民営、民間との共同運営が研究する。建て替えについては複合化・多機能化の視点から検討する。

## ●一般質問

## 南部地区の文化・観光振興策について問う

質問▼美々津の歴史的町並みの倒壊寸前の空き家対策、漆喰壁の崩落や銅板製雨どいの腐食対策、文化財修復事業に携わる業者の研修の場の創設を問う

答弁・教育長▽傷んだ空き家は「保存審議会」に諮問しているし、空き家対策推進室とも連携して取り組んでいる。壁や雨どい等は伝統工法で修復する業者が減少している。技術力向上に向け、他県の伝建地区の情報も収集しながら今後研究する。また、地元の修理修復を希望する方の意向を十分聴き、丁寧な対応に努める。



美々津・「おひなさん祭り」3月1日 今年には新型コロナの影響でイベントは中止。お飾りのみ実施されました

答弁・教育長▽伝建地区としての国の選定後に条例を制定。その後六か月に保存計画を策定したが、改定されたという話は聞いていない。検討する。

質問▼活性化を図るイベントおひなさん祭り等を行っているが、町並みを守る会の会員は百六十九名。ほとんどが高齢者。動けるプレーヤーがいない。市職員もボランティアとして参加してほしいがどうか

答弁・教育長▽「おひなさん祭り」は美々津地区の活性化を図るイベントと認識している。市としてもできる限りの協力をしたい。市にも要請があり、全職員に「助っ人」を呼び掛けている。私たち（教育長・市長）も参加したいと考えている。



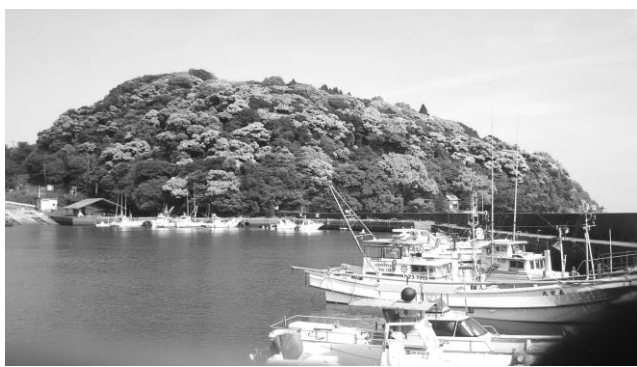
▶福岡県八女市(伝建地区)の取り組みとして「NPO 法人・八女町・町並みデザイン研究会」があります。久留米工業大学の大森洋子教授らの指導のもと、修理基準や修景基準、許可基準を定めていて、年間計画のもとで技術技能者講習会を開催しています。▶東郷病院のトイレが「冷奴」から「湯豆腐」(ウオッシュレット)に衣替え。昨年9月に質問した改善提案が実を結びました。病院は建替えられる…とのことですが、病室は残すのか、病室抜き診療所にするのか…依然として不透明のまま。東郷町の皆さんにとっては命の砦。今後も多くの患者さんを受け入れられる病院となるよう努力せねばなりません。



●一般質問  
南部地区の文化・観光振興策について問う

質問▼森林浴やパワースポットの景勝地・県指定文化財 権現崎の照葉樹林」を巡る遊歩道の改修計画とPRの強化策は。地元・幸の里景観づくり協議会」の活動への人的支援策を問う

答弁・市長＆商工観光部長▽遊歩道は「神話のまち美々津」「神武天皇お舟出の地」を歩む道」として、「新日本・歩く道・紀行百選」にも選ばれた観光素材で健康増進の人気スポットだが、整備が不十分。計画的に改修に取り組み。PRについては、展望の効く牧水の歌碑や中腹にある湊柱神社などの文化財を融合させ、情報発信に取り組み。※遊歩道清掃の人的支援は強く要望した。



森林浴やパワースポットの景勝地で県指定の文化財「権現崎の照葉樹林」。貴重な植物の宝庫です

質問▼市の文化財、日本土木学会選奨土木遺産」でもある美々津橋」の保存対策(特に 大型車両

の同時通行禁止」対策を示せ

答弁・市長▽同橋は塩害を受けやすい環境下にあるので補修の優先順位が高い橋梁。貴重な土木遺産でもあり維持・延命化を図る。また、同橋は、県道で通学路にもなっている。県土木事務所によると、大型車両の連行については、看板の位置を変更するなどの対策を講じるとの返答があった。市としても注意の喚起を促したい。



市の文化財と「日本土木学会選奨土木遺産」に選定されている美々津橋(昭和9年建築)

質問▼遠見地区 フクトが浦」の神武伝説と、十字に裂けた奇岩群のPR強化策について問う

答弁・市長▽クサフグが毎年六月ごろ産卵に訪れる同海岸には、豪快に水しぶきを上げる「潮吹き岩」、「十文字に浸食された奇岩群」のほか、神武伝説もある。

SNS等により国内外への発信を強化するとともに日向サンパーク温泉の利用拡大へつなげたい。

質問▼サンパーク・道の駅北側の山林を買収して樹木を伐採。国道一〇号からの見晴らしを良くするとともに、駐車場の拡張を図れ。そうすることで集客増、収益増につながるがどうか

答弁・市長▽国道沿いの民有林に視界を遮られ、施設が見渡せない状況。樹木を伐採することによって眺望が良くなり施設の利用拡大につながるが、施設整備が必要となる。利用状況を検証しながら検討する。

質問・二回目▽集客増を図るために姿・形を変えることが必要。利用状況を見ながら…」では、集客は望めないがどうか

答弁・市長▽サンパーク温泉への投資ということになる。そのことを含めて総合的に勘案しなければならぬ。

質問▼温泉施設の老朽化対策と併せてバイオマスボイラーの抜本的な改修を行い燃油の消費を抑える取り組みで収益増を図り、従業員の処遇改善につなげてはどうか

答弁・市長▽築後十七年が経過しており塩害による被害、老朽化が進んでいる。利用者の安心安全の確保や安定経営を図るため、優先順位を付して計画的に延命化に取り組んでいる。バイオマスボイラーの更新は最重要課題。検討している。

今後は、維持管理費の縮減など効率化やサービス向上の取り組みで利用拡大を図る。また、収益性の高い商品開発で収益増を図り、従業員の処遇改善を図る。



日向サンパーク物産館北側の山林。買収・伐採すれば集客増が見込まれ収益増となるはずだが…

質問▼南部地区からお倉が浜に至る遊歩道のインパクトのあるネーミングと修理・修復及びウォークスポットとしてのPR強化策を問う。ドローンを駆使して低空から観るVTRを作成してSNS等でのPRはどうか

答弁・市長▽遊歩道散策を新たな観光体験メニューに加えるとともに、愛称も含め広くPRや誘客に努める。空撮については、日向岬一帯や美々津などをドローンで撮影した素材を動画として編集。都市圏域でのPRやクルーズ船入港の際にモニターで放映している。SNSでの発信も取り組んでいる。

質問▼神武東遷伝説」を日本遺産とする取り組みの進捗はどうか

答弁・商工観光部長▼神武東遷伝説にゆかりのある宮崎市を始め奈良県橿原市など、二十四自治体で構成された「日本遺産推進協議会準備会」に日向市も加入。令和二年度の認定に向けて

市長提出議案39件中、2件について「紹介します。市営住宅条例の一部改正条例と農村シルバーセンターを廃止する条例2本です。

●市営住宅条例の一部改正条例 連帯保証人の負担を軽減

今回の議会では、条例の一部改正や当初予算などが市長から提案され、すべて承認・可決されました。「当初予算」とは今年の4月から始まる令和2年度の年間予算。今年市選選挙がありますから「骨格予算」と言って市政の運営に必要な予算のみ計上されます。

新しい事業は、6月議会の補正予算に組み入れ、お目見えします。

改正・廃止された条例については、2つだけご紹介します。まず、「市営住宅の一部を改正する条例」です。

改正された根拠は民法が改正され、今年の4月1日から施行されることによるもの。

市営住宅に入居するときは、連帯保証人・2人が必要となりますが、入居者本人が家賃を滞納したときには、本人に代わって連帯保証人が滞納家賃の全額を支払わなければなりません。これを「債務保証」と言います。

これまでの条例では、入居者が家賃を滞納した際、その全額を保証人が支払うこととされていましたが、改正後は、「入居している住宅・最高家賃の12か月、つまり、1年分に限りて支払えばよい」とこととなりました。

民法の債権関係の規定は、約120年間、ほとんど改正されませんでした。高年齢社会を迎え、住家に困っている高齢者や身寄りのない高齢者の増加などで、保証人を確保することが難しくなった昨今の時代背景を配慮した点にあります。

取り組んでいる。タイトルは「日本最古の冒険物語『神武東遷』」で、事務局の宮崎市が文化庁へすでに申請している。四月から五月の間に結果が発表されることになっている。

今回の改正で、入居しようとする方が保証人を頼みやすくなります。この改正条例は今年の4月1日以降に入居する方々に限って適用されます。

●農村シルバーセンター条例を廃止。有効活用を図ります

東郷町にある農村シルバーセンター(病院上)については、以前から利用がなかったことや、町内の他の施設へと移行することもできることから、農村シルバーセンターの看板を外すことにしたものです。

Back Stage

何とか、書き終えてホッと…♪。今回は、一般質問を詳しく紹介しました。質問で執行部である市側にも様々な注文。▶「もう少し現場に立ち寄って、話を聴くこと」。市の職員は文句を言われて当たり前。私も42年間勤務してそのことはよく理解しているつもりです。▶市民の皆さんは「電信柱が高いのも、郵便ポストが赤いのも、皆、市が悪い!」。特に災害後に被災現場へ向かうと苦情を言われました。▶昔々、先輩から、市民の犠牲となれ…との指導を受けました。現場に行き話を聴き、出来るものと出来ないものとに分ける。出来るものは仕方がないが、出来るものは短期・中期・長期に区分けして対応。友だち作戦(仲間をつくって知恵を借る)…等々。その時の教訓を未だに守り、実践しています。